



## 平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月25日

上場取引所 東

上場会社名 東亜合成株式会社

コード番号 4045 URL <http://www.toagosei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 橋本 太

問合せ先責任者 (役職名) IR広報室長

(氏名) 芹田 泰三

TEL 03-3597-7215

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	109,052	△5.7	10,363	△26.8	10,696	△25.1	6,645	△40.2
23年12月期第3四半期	115,660	1.0	14,156	△12.4	14,278	△11.0	11,113	34.4

(注) 包括利益 24年12月期第3四半期 6,755百万円 (△37.1%) 23年12月期第3四半期 10,740百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	25.20	—
23年12月期第3四半期	44.05	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	174,879	131,656	73.0
23年12月期	171,046	127,776	72.4

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 127,615百万円 23年12月期 123,826百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年12月期	—	5.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,000	△2.0	15,000	△13.5	15,300	△12.9	10,000	△23.1	37.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年12月期3Q	263,992,598 株	23年12月期	263,992,598 株
-----------	---------------	---------	---------------

② 期末自己株式数

24年12月期3Q	352,578 株	23年12月期	317,058 株
-----------	-----------	---------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年12月期3Q	263,658,265 株	23年12月期3Q	252,305,120 株
-----------	---------------	-----------	---------------

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当する変更を行っております。

詳細は、(添付資料)4ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想には、本資料の発表日現在入手可能な情報に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後さまざまな変動要因により、上記数値と異なる可能性があります。上記業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(4) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

#### (ア) 当第3四半期連結累計期間の概況

当第3四半期連結累計期間（平成24年1月1日から平成24年9月30日まで）における当社グループの業績は、売上高は1,090億5千2百万円（前年同期比5.7%減収）、営業利益は103億6千3百万円（前年同期比26.8%減益）、経常利益は106億9千6百万円（前年同期比25.1%減益）、四半期純利益は66億4千5百万円（前年同期比40.2%減益）となりました。

#### (イ) セグメント別の業績

##### ①基礎化学品事業

苛性ソーダおよび無機塩化物は、製品価格の是正に努めたものの、全般的に需要は低迷し、原燃料価格の上昇により収益が圧迫されたため低調に推移しました。無機高純度品は、主力である半導体向け需要が低迷しているものの、外需を中心に販売数量が一部回復し、前年同期並みで推移しました。硫酸は、前期末に製品価格を是正したものの、全般的に需要が落ち込み販売数量が減少したため、前年同期並みで推移しました。工業用ガスは、全般的に需要が弱く、販売数量が低迷したため低調に推移しました。これらの結果、当セグメントの売上高は353億8千8百万円（前年同期比1.5%減収）、営業利益は34億3千2百万円（前年同期比9.6%減益）となりました。

##### ②アクリル製品事業

アクリル酸エステルは、アジアにおける販売価格が低迷するとともに、国内需要の低迷を受けて販売数量が減少したため低調に推移しました。アクリル系ポリマーは、全般的に底堅い需要に支えられ堅調に推移しました。高分子凝集剤は、官需を中心に販売価格が低迷し低調に推移しました。光硬化型樹脂「アロニックス」は、汎用品の需要が弱含むとともに、液晶分野向けの販売数量が減少し低調に推移しました。これらの結果、当セグメントの売上高は396億5千7百万円（前年同期比10.9%減収）、営業利益は38億6千1百万円（前年同期比45.8%減益）となりました。

##### ③機能製品事業

接着剤は、一般用の需要が底堅く推移するとともに、工業用も携帯端末向けを中心とした需要に支えられ堅調に推移しました。建築・土木製品は、全般的に需要が落ち込み販売数量が減少したため低調に推移しました。無機機能材料は、消臭剤、防カビ剤の需要が堅調だったものの、抗菌剤、無機イオン交換体の販売数量が減少し低調に推移しました。エレクトロニクス材料は、シリコン系高純度ガスの販売価格が低迷し低調に推移しました。これらの結果、当セグメントの売上高は121億7千1百万円（前年同期比0.7%減収）、営業利益は22億2千3百万円（前年同期比3.7%減益）となりました。

##### ④樹脂加工製品事業

管工機材製品は、下水道分野に回復の兆しが出てきたものの、全般的に需要の回復が遅く、販売数量が低迷したため低調に推移しました。ライフサポート製品は、全般的に販売数量が減少し低調に推移しました。エラストマーコンパウンドは、販売数量が減少し低調に推移しました。これらの結果、当セグメントの売上高は195億4千2百万円（前年同期比3.8%減収）、営業利益は8億3千9百万円（前年同期比15.6%減益）となりました。

##### ⑤その他の事業

新規製品の研究開発事業、設備等の建設および修繕事業、輸送事業、商社事業などにより構成される当セグメントは、売上高は22億9千2百万円（前年同期比13.7%減収）、2千万円の営業損失となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### 資産、負債および純資産の状況

総資産合計は、「投資有価証券」が減少しましたものの、「有価証券」や有形固定資産などの増加により、前連結会計年度末に比べ38億3千3百万円、2.2%増加し、1,748億7千9百万円となりました。

負債合計は、「未払法人税等」が増加しましたものの、「支払手形及び買掛金」などの減少により、前連結会計年度末に比べ4千6百万円、0.1%減少し、432億2千3百万円となりました。

純資産合計は、配当金の支払いがあったものの、四半期純利益の計上により「利益剰余金」が増加しましたため、前連結会計年度末に比べ38億7千9百万円、3.0%増加し、1,316億5千6百万円となり、自己資本比率は73.0%となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、長期化する欧州経済の低迷に加え、中国経済の減速も鮮明になるなど世界経済の減速感が強まる一方、原燃料価格の上昇、長引く円高など厳しい事業環境が続くものと予想されます。このような中、当社グループは、引き続き徹底したコスト削減に努めるとともに、中期経営計画“ALL TOA 2013”に掲げる成長戦略を着実に遂行し、収益の改善に努めてまいります。

なお、平成24年12月期の業績予想につきましては、平成24年8月2日に公表した予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（有形固定資産の減価償却の方法の変更）

第1四半期連結会計期間より、従来定率法を採用していた子会社6社の有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法を定額法に変更いたしました。この変更は、定率法を採用していた一部子会社の販売業務を当社に統合し製造子会社化したことを契機とし、親子会社間で原価管理を統一するため、および各子会社が獲得する長期的かつ安定的な収益と投資後の減価償却費を使用期間にわたり定額に配分することにより厳格に対応させ、より適切な期間損益を連結財務諸表に反映するために行っております。

この結果、従来の方法に比べ、当第3四半期連結累計期間の減価償却費が3億3千1百万円減少し、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益は、それぞれ3億1千3百万円増加しております。なお、セグメント情報に与える影響については、当該箇所に記載しております。

### （4）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,467	15,547
受取手形及び売掛金	42,182	41,720
有価証券	10,000	15,000
たな卸資産	16,991	16,403
未収還付法人税等	2,050	—
その他	2,143	2,198
貸倒引当金	△76	△50
流動資産合計	87,757	90,818
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,897	20,035
機械装置及び運搬具（純額）	18,996	18,391
土地	16,857	17,297
その他（純額）	6,002	8,271
有形固定資産合計	61,754	63,996
無形固定資産		
のれん	48	41
その他	1,033	911
無形固定資産合計	1,081	953
投資その他の資産		
投資有価証券	13,645	12,519
その他	6,896	6,670
貸倒引当金	△90	△79
投資その他の資産合計	20,452	19,110
固定資産合計	83,288	84,060
資産合計	171,046	174,879

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,983	14,323
短期借入金	3,274	6,226
未払法人税等	1,736	2,517
引当金	34	621
その他	9,150	8,850
流動負債合計	29,179	32,539
固定負債		
長期借入金	9,323	5,798
退職給付引当金	534	516
役員退職慰労引当金	32	29
その他	4,199	4,339
固定負債合計	14,090	10,683
負債合計	43,269	43,223
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,886	20,886
資本剰余金	16,797	16,796
利益剰余金	86,758	90,766
自己株式	△103	△115
株主資本合計	124,338	128,334
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,166	953
為替換算調整勘定	△1,678	△1,673
その他の包括利益累計額合計	△511	△719
少数株主持分	3,950	4,040
純資産合計	127,776	131,656
負債純資産合計	171,046	174,879



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高	115,660	109,052
売上原価	80,212	79,902
売上総利益	35,447	29,149
販売費及び一般管理費	21,291	18,786
営業利益	14,156	10,363
営業外収益		
受取利息	79	32
受取配当金	242	259
持分法による投資利益	310	186
その他	375	316
営業外収益合計	1,008	794
営業外費用		
支払利息	165	108
為替差損	95	16
環境整備費	327	135
遊休設備費	81	92
浚渫費用	89	—
その他	127	108
営業外費用合計	886	461
経常利益	14,278	10,696
特別利益		
補助金収入	—	287
受取補償金	—	349
抱合せ株式消滅差益	—	87
負ののれん発生益	3,080	—
退職給付制度改定益	149	—
移転補償金	89	—
特別利益合計	3,318	724
特別損失		
固定資産処分損	326	157
投資有価証券評価損	445	454
減損損失	355	—
災害による損失	458	—
特別損失合計	1,586	612
税金等調整前四半期純利益	16,011	10,808
法人税等	4,352	3,853
少数株主損益調整前四半期純利益	11,658	6,954
少数株主利益	544	309
四半期純利益	11,113	6,645

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	11,658	6,954
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△423	△212
為替換算調整勘定	△493	13
その他の包括利益合計	△917	△199
四半期包括利益	10,740	6,755
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,229	6,437
少数株主に係る四半期包括利益	511	317

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年1月1日至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	基礎化学品 事業	アクリル 製品事業	機能製品 事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	35,930	44,493	12,260	20,322	113,005	2,655	115,660	—	115,660
セグメント間 の内部売上高 または振替高	86	18	286	28	419	5,685	6,105	△6,105	—
計	36,016	44,511	12,546	20,350	113,425	8,340	121,765	△6,105	115,660
セグメント利益 またはセグメン ト損失 (△)	3,798	7,130	2,308	995	14,233	△79	14,154	2	14,156

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、設備等の建設および修繕事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「基礎化学品事業」セグメントにおいて、355百万円（有形固定資産205百万円、撤去費用150百万円）の減損損失を計上しております。

(重要な負ののれん発生益)

「樹脂加工製品事業」セグメントにおいて、当社の連結子会社を株式交換により完全子会社としたことで、3,080百万円の負ののれん発生益を計上しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	基礎化学品 事業	アクリル 製品事業	機能製品 事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	35,388	39,657	12,171	19,542	106,759	2,292	109,052	—	109,052
セグメント間 の内部売上高 または振替高	56	50	314	15	436	5,865	6,302	△6,302	—
計	35,444	39,708	12,485	19,557	107,196	8,157	115,354	△6,302	109,052
セグメント利益 またはセグメン ト損失 (△)	3,432	3,861	2,223	839	10,357	△20	10,337	25	10,363

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、設備等の建設および修繕事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. (有形固定資産の減価償却の方法の変更)

「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」の「有形固定資産の減価償却の方法の変更」に記載の通り、従来定率法を採用していた子会社6社の有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法を定額法に変更いたしました。この結果、従来の方法に比べ、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益は、「基礎化学品事業」が257百万円、「アクリル製品事業」が49百万円、「機能製品事業」が6百万円、「その他」で0百万円増加しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。